

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：山ノ神沼を守る会

20A-11

代表者：会長 杉崎隆男（報告者 副会長菅勝夫）

URL :

1. 活動が必要とされた状況

山ノ神沼は、近隣の宅地化の進展に伴う生活排水等の流入により水質が悪化し、沼にアオコが発生するなど、水環境を改善することが急務となっている。平成 29 年度は水辺の湿生植物園に繁茂するヨシを整理して蓮(ハス)苗を植栽し、沼に流入する水浄化をはかるとともに、市民の散策路の環境改善をはかることが必要とされていた。



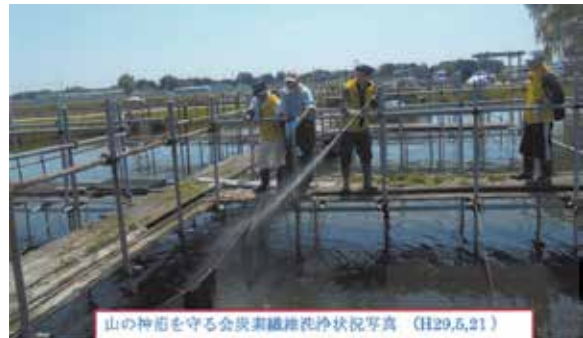
2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

5月21日、湿生植物園に繁茂するヨシと雑草を刈り払い、ハクレン栈橋の水質浄化の炭素繊維の洗浄作業を会員10名で行った。



3. 活動の成果

「山ノ神沼を守る会」の総会（平成 29 年 6 月 4 日、蓮田中野市長、市議会議員、石井県会議員ほか 18 名出席）、蓮田北小水質浄化実験説明会（平成 30 年 2 月 13 日 5 年生 40 名 関係者 6 名）でサイサン環境保全基金の助成と会員の努力で成果が上がったことを報告した。



4. 今後に残された課題

山ノ神沼の本質的な水質浄化をめざして、小島昭博士（前橋総合技術ビジネス専門学校校長）の指導の下、新機能炭素繊維による新たなシステム構築が今後残された課題である。

